

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇なくその差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

全国25の職場でストライキ決行

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 3740
17年3月24日(金)
・Fax 095-828-1953

本部は要求とかけ離れた回答に対して抗議すると同時に、現時点でこれ以上の前進が難しいと判断し、全国



おはようございます。
郵政ユニオンは2月21日、2017年4月1日以降の賃金引上げ等に関する要求書を提出し、回答引き出しに全力を上げてきました。
これに対して、3月22日に開催した第7回賃金交渉において、日本郵政グループ各社は経営環境の厳しさを理由に、ベア見送りと最終回答を行ってきま

3.23ストライキ宣言

郵政ユニオンは、本日、17春闘要求の実現をめざして早朝より全国13拠点、25職場でストライキに突入した。また、全国の職場では局前ビラ宣伝と集会をとりくみ、ストライキへの連帯行動を展開している。

3月16日の会社回答で非正規社員の処遇改善に一定の前進はあったものの、正社員と非正規社員の基本賃金の改善には全くの「ゼロ回答」であった。正社員と月給制契約社員は2年連続のベアゼロであり、時給制契約社員は民営化以降、賃上げは行われていない。夏期一時金で「特別加算」の上積みがあったにしても、月給制、時給制社員は基本賃金の引き上げによる底上げによって処遇の大幅な改善をはかるべきであり、今春闘における「ゼロ回答」に強く抗議する。本日のストライキは、我々の要求に応えようとしない会社に怒りと抗議の意志を示すとともに、さらなる回答の引き出しを求めるたたかいである。

今春闘で会社側は「期間雇用社員の更なるモチベーションアップ」を理由に、夏期一時金に特別加算の上積み、正社員登用における応募要件の緩和と初任給算定方法の改善等、非正規社員の処遇改善に一定の前進ある回答をしてきた。これは17春闘をとりまく「働き方改革」を意識したものではあるが、非正規社員の均等待遇と正社員化を求める郵政ユニオンの粘り強いたたかいによってもたらされたものでもあり、ユニオンのたたかいが、「風穴を開けた」のである。今後、応募要件の緩和に見合う登用数の拡大をかちとっていかなければならない。

格差の是正を求める休暇、手当等の均等待遇要求はほぼゼロ回答であった。だからこそ、労基法20条裁判の出番である。20条裁判の勝利によって、正規、非正規の不合理な格差に「風穴を開ける」ことができる。郵政ユニオンは今日、判決のメトロコマースをはじめ、20条裁判をたたかうすべての仲間たちと連帯し、日本社会から非正規差別をなくしていく。

昨年、半日以上のストライキはわずか39件。うち1件は郵政ユニオンである。毎年の全国統一ストライキは、私たちの春闘の歴史そのものであり、そのたたかいは全国の労働者の連帯によって作られてきた歴史でもある。ストライキの力に自信と誇りを持ち、17春闘要求の前進をめざして最後までたたかい抜くことをここに宣言する。

2017年3月23日

郵政ユニオン中央闘争委員会

13職場でのストライキ決行を指令しました。
これを受け、九州でも北九州中央局と福岡中央局の2局でストライキに突入しました。北九州中央局で行われたストライキ突入集会の様子が報告します。
「北九州支部17春闘勝利！ストライキ突入集会」には、福岡県労連、北九州ユニオンをはじめ多くの支援団体から50人を超える

仲間が駆けつけ盛大に開催されました。
地本書記長からの、中央本部でのベアなしゼロ回答の交渉報告が終わり、支援団体からの連帯発言では、「郵政は「ブラック企業大賞」をもらうようになって誇り高い会社である。(笑)」
「郵政ユニオンの組合員が、20条裁判で、非正規労働者の権利を獲得することは、全ての非正規労働者の権利を引き上げることに繋がる



と、確信を持ってたたかっていることに敬意を表する」等あたたかい支援の言葉をいただきました。
1時間半のストライキ集会は、大成功のもと無事終

了しました。
このストライキの勢いと団結をもって、争議解決へ一歩でも二歩でも前進しましょう！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。